



1 気象経過及び生育状況

(1) 気象経過

- 8～9月の平均気温は、概ね平年よりも高く推移しています(図1)。
- 降水量は、断続的な降雨が続いた影響で、平年よりも多くなっています。特に、8月5～8日、20日、9月2日、20日の豪雨により、一部のほ場では、浸水・冠水による生育抑制や落莢による着莢数の低下がみられました。
- 日照時間は、平年の106%とやや多くなりました。

(2) 9月末時点での生育状況

- 主茎長は59.9cm(平年比106%)、分枝数は4.0本/個体(同差-0.3本/個体)となっています。
- 着莢数は49.4莢/個体と、平年よりも多くなっています(同比112%)が、一部のほ場では、腐敗莢がみられています。
- 平均気温が高かったため、葉の黄化が進まず、9月6半旬に黄葉期となりました。

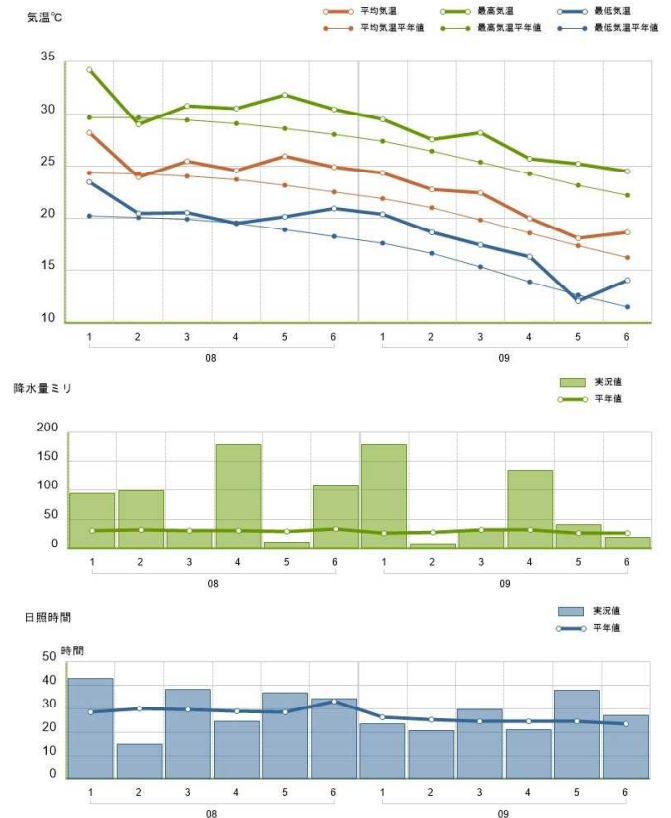


図1 半旬ごとの気象経過図(アメダス鷹巣)

○生育調査結果(9月30日現在)

	主茎長 (cm)	分枝数 (本/個体)	着莢数 (莢/個体)
R 7	59.9	4.0	49.4
R 6	61.0	3.5	48.8
平 年	56.5	4.3	44.1
平年比	106%	-0.3	112%

管内6カ所平均値。



茎の水分

70%以上 60% 50% 40%以下

茎の色

緑～黄色 褐色 黒み 灰色・白色まだら

図2 茎の水分と茎の色の目安

2 今後の管理

(1) ほ場管理

- 登熟を均一に進め、刈り取り作業を効率的に行うため、ほ場内の排水対策を徹底します。仙台管区气象台による1か月予報(9月25日発表)では、降水量は平年並となっています。明きょや排水路の点検・補修をしっかりと行ってください。
- 大型雑草や青立ち株は、汚損粒が発生する原因になりますので、刈り取り前に確実に抜き取りしてください。

(2) 刈り取りの目安(図2)

- 右図の目安を参考にして計画的な収穫作業を行いましょう。刈り取り作業の遅れは、裂莢による収穫ロスやカビ、しわ粒の発生につながります。
- コンバインでの刈り取り目安は、茎水分が50%以下の頃です(茎の色が褐色～黒色、ポキッと折れる程度)。
- 倒伏による汚損粒の発生が心配される場合は、作業速度やこぎ胴の回転数を抑えるなどの低減対策により品質低下を防止します。